



厳しい寒さや大雪にも見舞われた冬でしたが、日差しに春の気配が加わり、春の訪れが待たれますね。学校では、本年度の教育活動を振り返りつつ、子ども達のさらなる成長を願って新年度の方針や取組を検討されておられる頃でしょう。

さて、本年度末で校長職を退かれる方から3名の先生にお願いして、永年携わってこられた教職への思いを綴っていただきました。子どもたちの育成に貢献してこられた功労を讃えつつ、TNBだより2月号でお二人、3月号でお一人のメッセージをご紹介しますと思います。



38年間の出会いに感謝

丹波篠山市立丹南中学校長 木村 暁

教諭から主幹教諭、教頭、そして校長に至るまで、38年もの間、兵庫県の教育に携わることができました。私にとって、この道のりは、生徒たちの成長と教育環境の進化とともに歩んだ、挑戦と喜びに満ちた時間でした。

教諭時代は、野球部監督として部活動に明け暮れ、生徒たちと一緒にグラウンドを走り続けた日々が、深く心に残っています。兵庫県下はもとより、近畿地区を飛び越えた大会や練習試合に参加するなど、生徒たちとともに高いレベルでの挑戦を経験させていただきました。この部活動での経験を通じ、県内外の様々な大会や研修の場で、指導者や関係者の方々との貴重な出会いがあり、指導者としての視野を広げる強固なネットワークを築くことができました。

管理職に就いてからは、学校教育全体を牽引する役割を担いました。中学校教頭として勤務した後、小学校・幼稚園にて校園長を2年間務めるなど、幼・小・中学校の教育現場で経験を積むことができました。

そして何よりも、この長きにわたる教職生活を通じ、丹波篠山市内にある5つの中学校すべてに赴任するという大変貴重な機会に恵まれました。それぞれの学校での勤務は、地域の実情や文化に深く触れる機会となり、数多くの生徒、保護者、そして地域の方々との出会いが、私の教師としての礎を築いてくれました。市内の様々な地域で教壇に立ち続けた結果、今、私が最後に勤務するこの丹南中学校において、かつて私が教えた生徒たちが成長して保護者や地域の方々となり、学校運営に協力し、支えてくださっていることを深く感じています。

この38年間、教員として出会うことのできた全ての皆様からいただいた温かいご支援とご理解に対し、心より感謝申し上げます。この貴重な経験を活かし、今後も教育界の更なる発展に貢献していきたいと思っております。

38年間本当にありがとうございました。

私を支えてくれたあたたかい光に感謝

丹波市立船城小学校長 足立正徳

今年の3月31日をもちまして38年間にわたる教職員生活にひとつの区切りをつけることとなりました。

初めて教壇に立った日の緊張感、運動会で子どもたちと感動を共有した瞬間、大学院での新たな探究、県教委や市教委での仕事の重責、校長としての数々の判断。その時々で出会った顔、顔、顔。今思えば、私の38年間は、まさに人との出会いによって紡がれた時間でした。

正直に申し上げますと、楽しかったことよりも、苦しかったこと、悩んだことの方が心に残っているように思います。学級経営がうまくいかず、布団の中でひとり反省会をし、一睡もできずに朝を迎えたこと、保護者の方との対話に悩み、自分の無力さを痛感したこと、朝の出勤時、考えすぎて事務所を通り越し、屋上に出勤していたことなどなど。当時はそれらを乗り越えるたび、「自分の力で踏ん張った」とどこかで自負していたように思います。しかし、今振り返ってみますと、私の周りにはいつも誰かがいて支えてくれていました。夜更けまでグラスを傾け悩みを聞いてくれた先輩。休日に教材を広げ、ともに知恵を絞ってくれた後輩。そして、災害の夜、庁舎で夜通し知恵を絞って学校対応を話し合った同僚。あの日あの時、当たり前のように交わっていた厳しい言葉や優しい言葉の一つひとつが、今の私の成長の基となり私を支えてくれた「光」でした。

日々仕事に走り続けている皆さん。学校現場は、コーヒーを淹れたはずなのに気が付くとアイスコーヒーになっているような多忙な場所です。だからこそ、慌てず立ち止まる時間を大切に、あなたを支えている光に気づいてもらえたらと思います。

これからは、出会ったすべての方々への感謝を胸に、まずはどんな時も私の味方でいてくれた家族に笑顔と元気を届けていきたいと思います。そして、還暦を迎え、「全力疾走したつもりでも端から見れば早歩き」という現実には直面している自身の体も慈しみながら、「ぼちぼちいこか」で社会に恩返しをしていく所存です。

最後になりますが、これまで出会った子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様、そして苦楽を共にした職場の皆様、教育委員会の皆様。皆様がいたから、私は今日まで「先生」でいられたのだと本当に感謝しています。心からありがとうございました。



本年度も先生方の熱心な指導や子どもたちの元気な活動を拝見してきました。全国の学校での暴力行為の発生率は、令和4年から小学校が中学校や高等学校を上回っているようになっています。



丹波地域でも様々な課題はありますが、どの学校でも真剣に子ども達に関わる先生方の姿があり、先生方の毎日の努力で子どもたちが成長しています。先生方のご健闘に頭が下がる思いです。

学校問題サポートチームも、先生方のご支援、子ども達の成長の一助になればと願っております。学校支援でお役に立てそうなおことがありましたら、管理職を通してお知らせください。